

■ シード基準について

○ それぞれの大会では、次のシード順を優先し、同じ位置ならば抽選、またはパソコンの乱数にまかせる。

1 5月県中学生 県バドミントン協会主催

団体戦 11月大会を参考

個人戦 11月共通ベスト16 > 1年4 ≥ 小6のベスト4 (2月小学生大会)

[2 7月県総体 (毎年、県中体連要項に記載) 県中体連主催]

団体戦 5月大会を参考

個人戦 5月大会の共通の部のベスト16, 1・2年の部のベスト4を優先順とする

3 11月県新人 県バドミントン協会主催

団体戦 7月大会を参考

個人戦 D: 5月共通ベスト8 > 5月共通16 ≥ 5月1・2年4

S: ジュニア新人8 > 5月共通8 > ジュニア新人16 ≥ 5月共通16 ≥ 5月1・2年4

4 共通して考慮する事項

○優先する事項

・個人戦のシード権は、学校順位を優先する。

(例えば、学校の2番手がベスト8で最上位なら、1番手をその位置へ入れる。ベスト4は除く)

・シード順より、学校バランスを優先する。

(シード権のある同じ学校の者は、反対側の山になるようにあてる。九州大会・全中も同じ)

・鹿児島市以外の同一地区は、一回戦であたらない。

○努力する事項

・一回戦で1番手同士があたらない。(1校1名同士の場合はしかたなし)

・同じ学校同士の対戦ばかりにならないようにする。

・各山のバランス(1番手が集まらないように)

※ 近年、下位学年が共通の部に多く出場する傾向があり、下位学年の部と共通の部のバランスが課題。
ポイント制も検討中